

2007年5月4日 パリ

**ユーラーヘルメスにとって力強い成長の2007年の第一四半期：
純利益は111.5百万ユーロで29%の上昇**

2007年5月4日、ユーラーヘルメス取締役会の Directoire は2007年第一四半期の決算結果(監査なし)を発表しました。

主要数値

ユーロ(百万単位)	第一四半期 2007	第一四半期 2006	増減額	増減率 (%)
売上高	512.8	498.5	14.3	2.9%
通常の営業収益	97.8	72.0	25.8	35.8%
営業外収益(金融費用を除く)	80.1	66.0	14.1	21.4%
経常利益	177.9	138.1	39.8	28.8%
最終連結決算	111.5	86.3	25.2	29.2%
営業活動の最終コンバインド・レシオ(損害率と事業費率の和)	76.2%	80.4%		
グローバルな最終コンバインド・レシオ(service margin 含む)	67.0%	69.2%		

1. 売上高

2007年3月末では、ユーラーヘルメスの連結総収入は512.8百万ユーロとなり、2006年の第一四半期に比べると2.9%の増加がみられました。同一の連結比率と為替相場により、2007年の第一四半期にはグループの営業活動は4.4%上昇しました。

ユーロ圏では、フランス(6.6%)、イタリア(3.2%)、北欧諸国(11.3%)における営業活動の成長により、売上高は引き上げられました。その一方で、ドイツでは競争力の激しい環境とドイツ国内企業との再保険契約の減少により売上高は1.1%下がりました。

イギリスでは、保険料の低下が2年間続いていましたが、この四半期には営業活動は若干上昇しました。

アメリカでは、ユーラーヘルメスの商業ネットワークの拡大にあやかり、売上高の成長は非常に好調(同一の為替相場で21.9%の上昇)を維持しています。

新規進出市場(中・東欧、南欧、ラテンアメリカとアジア)の収益成長率は、2006年の第一四半期に比べると16.7%(同一の連結比率と為替相場で)に達しました。これらの市場はグループの連結総収入の10.5%を計上しています。

地域別の総収益（実収保険料に基づく）

ユーロ(百万単位)	2007年 3月31日	2006年 3月31日 (1)	2006年 3月31日 (2)	2006年からの 増減率	2006年からの 増減率 (pro forma ^ -s)
ドイツ	169,9	173,7	171,9	-2,2%	-1,1%
フランス	96,6	90,6	90,6	6,6%	6,6%
イタリア	58,0	56,2	56,2	3,2%	3,2%
イギリス	53,7	52,2	53,3	2,9%	0,7%
アメリカ	38,5	34,6	31,6	11,5%	21,9%
ベルギー	19,2	19,2	19,2	-0,1%	-0,1%
オランダ	11,7	12,0	12,0	-2,2%	-2,2%
北欧諸国	10,9	9,6	9,8	13,1%	11,3%
主要国の合計	458,5	448,0	444,5	2,3%	3,1%
ユーロ圏合計	366,3	361,3	359,6	1,4%	1,8%
新規進出市場の合計(3)	54,3	50,4	46,6	7,7%	16,7%
グループ合計	512,8	498,5	491,1	2,9%	4,4%

注釈： (1)保険料払戻控除後のIFRS売上高 pro forma ベース

(2)売上高から払戻保険料を引いた後の pro forma 数値、通貨換算格差と連結範囲 の変化に対応して調整しており、ユーラーヘルメスの総収入は 2007 年第一四半期の平均為替交換比率を利用して計算されています。

(3)ポーランドの保険会社の拡大を考慮した上、その総収入を換算するに当たっては 2006 年に見直されました。比較が可能となる土台を作るために、前年のデータは pro forma で再表記しあります。

2. 営業利益

2007 年第一四半期のコンバインド・レシオ(損害率と事業費率の和)は 2006 年第一四半期の 69.2%から 67.0%になりました。この向上の主な原因は倒産率の低下にあります。2007 年の四半期中に、純損害率が、2006 年の第一四半期の 52.8%から 48.5%へと低下しました。純費用比率は、いくつかの例外商品により 2006 年の第一四半期に比べると若干上昇していました。

ユーラーヘルメスの営業利益の成長の主な原因は再保険最適化計画による保有額の増加にありました。出再率は 2007 年の第一四半期末には、2006 年の同時期 37%に比べ、ほぼ 29%でした。この結果、収入保険料の伸びは 16%以上となりました。

2007 年の四半期の営業外収益は 80 百万ユーロであり、21%の上昇がみられました。この上昇の主な原因は、金融資産を主とする現金化したキャピタルゲインが、2006 年の第一四半期の 43 百万ユーロに対して、2007 年第一四半期には合計して 57 百万ユーロ得られたことにあります。

金融資産の市場価値は 2007 年の第一四半期末には 3462 百万ユーロとなり、2006 年 12 月 31 日の 3349 百万ユーロと比較すると、113 百万ユーロの増加となりました。

引受業務と財務収益の好成績により、177.9 百万ユーロの営業利益を生み、28.9%の上昇が見られました。

3. 純利益

財務費用および税金の計算後、ユーラーヘルメスの純利益は 111.5 百万ユーロとなり、2006 年の第一四半期に比べて 29.2%の増加が見られました。

4. 海外展開

2007年初めより、ユーラーヘルメスは海外進出をさらに発展させています。

- ・ アルゼンチンおよびドバイでの営業支店の設置
- ・ イスラエルの最大手信用保険会社 ICIC の純資産額の 1/3 を買収
- ・ ポルトガル系信用保険会社 COSEC の株式保有を 42% から 50% へと増加
- ・ アメリカで売上債権管理と商用債権回収に関してリーディングカンパニーの一つである、ユナイテッド・マーカントアイル・エージェンシーズ(UMA) の買収
- ・ アイルランドでの商用債権回収の事務所の立ち上げ

5. 重役会

ユーラーヘルメス取締役会は重役会の4人のメンバーの任期を3年に更新しました。重役会のメンバーは CEO の Clemens Von Weichs, Gerd-Uwe Baden, Nicolas Hein と Michel Mollard です。

6. 総会

5月9日(水)に行われる予定である、ユーラーヘルメスの株主総会では、2006年度の配当金は4.00ユーロを支払う提案がされる意向です。この配当金は2007年の5月11日に支払われます。

ユーラーヘルメスグループは世界の信用保険市場において首位の地位を築くとともに、保証保険や保証分野においてもリーダー的地位を確保しております。世界49カ国に5,500人の社員を擁し、幅広い与信管理サービスを提供しています。2006年のグループ売上高は20.1億ユーロです。

ユーラーヘルメスグループは AGF の子会社として、またアリアツグループの一員として、ユーロネクスト・パリ証券取引所に上場。スタンダード&プアーズより AA- の格付けを取得しております。

本件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

ユーラーヘルメス信用保険会社・日本支店 広報担当 TEL:03-3538-5403 メールアドレス:mailbox@eulerhermes.co.jp

Euler Hermes Press / Investor contacts Euler Hermes Group:

Investor relations 33 (0)1 4070 50 31 benoit.descressonneres@eulerhermes.com

Press relations Bettina Sattler 33 (0)1 40 70 8141 bettina.sattler@eulerhermes.com

These assessments are, as always, subject to the disclaimer provided below.

Cautionary Note Regarding Forward-Looking Statements:

Certain of the statements contained herein may be statements of future expectations and other forward-looking statements that are based on management's current views and assumptions and involve known and unknown risks and uncertainties that could cause actual results, performance or events to differ materially from those expressed or implied in such statements. In addition to statements which are forward-looking by reason of context, the words 'may, will, should, expects, plans, intends, anticipates, believes, estimates, predicts, potential, or continue' and similar expressions identify forward-looking statements. Actual results, performance or events may differ materially from those in such statements due to, without limitation, (i) general economic conditions, including in particular economic conditions in the Allianz Group's core business and core markets, (ii) performance of financial markets, including emerging markets, (iii) the frequency and severity of insured loss events, (iv) mortality and morbidity levels and trends, (v) persistency levels, (vi) the extent of credit defaults (vii) interest rate levels, (viii) currency exchange rates including the Euro-U.S. Dollar exchange rate, (ix) changing levels of competition, (x) changes in laws and regulations, including monetary convergence and the European Monetary Union, (xi) changes in the policies of central banks and/or foreign governments, (xii) the impact of acquisitions, including related integration issues, (xiii) reorganization measures and (xiv) general competitive factors, in each case on a local, regional, national and/or global basis. Many of these factors may be more likely to occur, or more pronounced, as a result of terrorist activities and their consequences.

The matters discussed herein may also involve risks and uncertainties described from time to time in Allianz AG's filings with the U.S. Securities and Exchange Commission. The Group assumes no obligation to update any forward-looking information contained herein.